

グループワーク 全体共有

12月20日分

まずは一緒に
いることから...



同じ子どもを持つ
親として、
団体の
いつもの活動に
参加したい

退院直後に
おそうざいも届けたり...
お母さんを支える
ちょっとしたこと
できたらいいな



「配慮をしなければ」が
「受け入れできない」に
つながっている

100%
ちゃんとするも
すこ
でまるとも
少しあ
れば...



一緒に
できる方法を
考えていいかな...

医療的ケアは
医療や福祉で
提供できるけど
地域社会と
分断されること
社会的な
経験がなくなると...
一緒に活動することか
経験になる!



多くの
子育て団体が
誰でもウエルカム!!
医療的ケア児も
受け入れたらいい
そのことがうまく伝わらない



妊娠中から
親同士で
関係をもちあうこと
お母さんの状況に
関わらず
つながりつづ
けたいのでは



親ごさんが
「きっとムリ」と
思わずに
団体を訪ねて
もらえるよう
ポスター
チラシなど
あかせ...



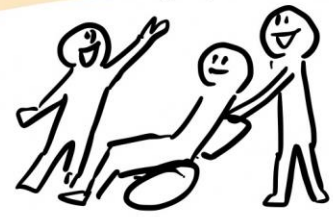
行政と
複数の団体が
連携して
作れたらいいな

知るから
はじまる
私たち自身が
SNSやツイッターで
伝えることも大切!



顔の見える
二近所づきあいか
誰でも乗れる
日常的な場にならば!

まあはいっから!
「大変そうやね
どこいくの?」と
声をかけた人手を差し伸べたい



一緒に
「体験できる」
「表現できる」場が
あれば



一緒に
「いること」だけで
新たな気づきか
得られるとも
ある

みんなを
集まれば
サポートしやすい

存在を
打ちかえれる
ニニフイ
いいんだと思える
場にならば...



お母さんか
相談しやすければ
お子さんの手当てに
つながりやすくなる

支援すること
体制など
一緒に考えたい



今まで調へもしないし
知ろうとしなかった
親や夫にも話したい



リゾルの場
だけでなく
オンラインで
つながるのも
いいな

お母さんは
つかへないか



いやすたり
ぼーっとする場が
必要

お母さんが
元気なら
子どもも元気に〜